様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	専門学校大育
設置者名	学校法人石川学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
衛生専門課程	調理本科	夜・通信	－	－	
	調理科	夜・通信	31単位	４単位	
	製菓衛生師科	夜・通信	31単位	４単位	
医療専門課程	歯科衛生士科	夜・通信	111単位	１０単位	
商業実務専門課程	観光ビジネス本科	夜・通信	63単位	７単位	
	会計ビジネス本科	夜・通信	63単位	７単位	
工業専門課程	情報処理本科	夜・通信	－	－	
（備考） 募集停止学科（調理本科・情報処理本科）については、配置なし					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公開 https://www.daiiku.ac.jp/daiiku_news_info/2392/?catid=43

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	専門学校大育
設置者名	学校法人石川学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公開 https://www.daiiku.ac.jp/daiiku_news_info/2392/?catid=43

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	宜野湾市市議会議員	R7.6.2～ R10.6月	組織運営体制へのチェック機能
非常勤	（前職）沖縄県文化協会	R7.6.2～ R10.6月	組織運営体制へのチェック機能
非常勤	那覇空港ビルディング（株）	R7.6.2～ R10.6月	組織運営体制へのチェック機能
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校大育
設置者名	学校法人石川学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 授業計画については、歯科衛生士、調理師、製菓衛生師として必要な基本的な技術及び専門知識の修得が可能となるよう学科毎の教育目標、教育課程表、成績評価の方法等を記載し、ホームページに公表している。

授業計画書の公表方法	ホームページにて公開 https://www.daiiku.ac.jp/daiiku_news_info/2392/?catid=43

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 授業科目の学修成果の評価は、実技試験と筆記試験に分かれて評価が行われる。 実技試験については、前期と後期の各期終了までに指定された課題について合格した者について評価を行う。合格できなかった者について卒業判定特別再試験等を行うが、これに合格できなった場合は、進級・卒業判定は不可となる。 筆記試験においても、前期・後期の各期終了までに指定された筆記試験・レポートの提出等の課題が課せられ評価を行う。 これに合格できなかった場合は、進級・卒業認定は不可となる。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 授業科目ごとに学校が定める学力考査（年６回実施）、及び学期ごとの期末考査（年２回実施）によって各科目の評価及び成績の分布状況の把握を行う。 各学力考査の素点及び期毎の期末考査の平均によって、平均点が１００点～８０点の場合は「優」、７９点～７０点の場合は「良」、６９点～６０点の場合は「可」の評価を行っている。

客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページにて公開 https://www.daiiku.ac.jp/daiiku_news_info/2392/?catid=43

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 卒業認定は本校所定の授業科目ごとに満点の６０％以上の得点をもって合格とし、本校既定の必須科目１科目以上不合格がある場合は卒業と認めない。 本校所定の課程を修了した者には、学習評価のうえ卒業証明書を授与する。

卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページにて公開 https://www.daiiku.ac.jp/daiiku_news_info/2392/?catid=43

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	専門学校大育
設置者名	学校法人石川学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ https://www.daiiku.ac.jp/wp-content/themes/daiiku/files/about/kansa.pdf
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

２．教育活動に係る情報

①　学科等の情報（１）

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医　療	医療専門課程	歯科衛生士科	○	－

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
３年	昼間	131　単位	101 単位	10 単位	20 単位		

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120 人	47 人	0 人	4 人	9 人	13 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
学校が定める月毎の学力考査と期末における筆記試験を定期的に実施し、授業出席率・授業態度および課題提出等を総合的に判断し評価する。ただし、出席率が８５％を下回る場合には成績評価は不可とする。
成績評価の基準・方法
学校が定める月毎の学力考査と期末における筆記試験を定期的に実施し、授業出席率・授業態度および課題提出等を総合的に判断し評価する。ただし、出席率が８５％を下回る場合には成績評価は不可とする。
卒業・進級の認定基準
課程修了の認定は、各学期に実施した試験並びに学年末試験、追試験、再試験の結果が、必修科目６０点以上、選択必修科目６０点以上であること。 所定の全課程を修了したと認めた者には、修了証書または卒業証書を授与する。
学修支援等
各学期修了までに全ての課程に合格できなかった者、あるいは、病気、事故によるケガ等のやむを得ない理由によって進級基準等を満たさなかった者については、本校学修支援の一環として、特別補講、進級判定特別再試験、もしくは、卒業判定特別再試験を行う。但し、特別補講、進級判定特別再試験、もしくは、卒業判定特別再試験によって課題等に合格できなかった場合は、進級・卒業認定は不可とする。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
31 人 （100%）	0 人 （　0%）	31 人 （　100%）	0 人 （　0%）
（主な就職、業界等） 県内歯科医院、県立病院			
（就職指導内容） 月１回の管理者会議を開催し、求人情報、内定状況、各クラスの問題点等の共有を行っている。就職説明会（実習先、企業等）に参加するとともに求人票を校内掲示板に掲示するとともに職員室にファイリングし整備している。　履歴書の書き方、面接の受け方を指導し、就職試験前には、個別の面接指導を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 歯科衛生士、歯科医療事務、社会人常識マナー検定、文書処理検定、表計算検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
62 人	2 人	3.2%
（中途退学の主な理由） 進路変更のため		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任、学科長を含む管理者が学期途中及び学期末に生徒・保護者面談を行い、学習、進路に対する指導・支援を行っている。		

① 学科等の情報（２）

分野		課程名	学科名			専門士	高度専門士
衛　生		衛生専門課程	調理科			－	－
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
１年	昼間	36　単位	20 単位	3 単位	13 単位		

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
30 人	4 人	0 人	4 人	15 人	19 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

各科目において各々の講義・実習等を行い、各科目において期毎の筆記試験・卒業判定試験・実習等の評価を行う。年間の授業計画・内容については、ホームページ等で公表する。
成績評価の基準・方法
学校が定める月毎の学力考査と期末における筆記試験を定期的に実施し、授業出席率・授業態度および課題提出等を総合的に判断し評価する。ただし、出席率が８５％を下回る場合には成績評価は不可とする。
卒業・進級の認定基準
課程修了の認定は、各学期に実施した試験並びに学年末試験、追試験、再試験の結果が、必修科目６０点以上、選択必修科目６０点以上であること。 所定の全課程を修了したと認めた者には、修了証書または卒業証書を授与する。
学修支援等
各学期修了までに全ての課程に合格できなかった者、あるいは、病気、事故によるケガ等のやむを得ない理由によって進級基準等を満たさなかった者については、本校学修支援の一環として、特別補講、進級判定特別再試験、もしくは、卒業判定特別再試験を行う。但し、特別補講、進級判定特別再試験、もしくは、卒業判定特別再試験によって課題等に合格できなかった場合は、進級・卒業認定は不可とする。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8 人 （100%）	0 人 （ 0%）	7 人 （ 87.5%）	1 人 （ 12.5%）
（主な就職、業界等） 県内外リゾートホテル、レストラン、学校給食等			
（就職指導内容） 月１回の管理者会議を開催し、求人情報、内定状況、各クラスの問題点等の共有を行っている。就職説明会（実習先、企業等）に参加するとともに求人票を校内掲示板に掲示するとともに職員室にファイリングし整備している。 履歴書の書き方、面接の受け方を指導し、就職試験前には、個別の面接指導を行っている。校内企業説明会も行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 調理師、食育インストラクター、社会人常識マナー検定、文書処理検定、表計算検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10 人	2 人	20%

（中途退学の主な理由） 健康上の都合、進路変更のため
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任、学科長を含む管理者が学期途中及び学期末に生徒・保護者面談を行い、学習、進路に対する指導・支援を行っている。

① 学科等の情報（３）

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
衛　生		衛生専門課程	製菓衛生師科		－		－	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
１年	昼間	35　単位	16 単位	3 単位	16 単位			

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
30 人	8 人	0 人	2 人	9 人	11 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
各科目において各々の講義・実習等を行い、各科目において期毎の筆記試験・卒業判定試験・実習等の評価を行う。年間の授業計画・内容については、ホームページ等で公表する。
成績評価の基準・方法
学校が定める月毎の学力考査と期末における筆記試験を定期的に実施し、授業出席率・授業態度および課題提出等を総合的に判断し評価する。ただし、出席率が８５％を下回る場合には成績評価は不可とする。
卒業・進級の認定基準
課程修了の認定は、各学期に実施した試験並びに学年末試験、追試験、再試験の結果が、必修科目６０点以上、選択必修科目６０点以上であること。 所定の全課程を修了したと認めた者には、修了証書または卒業証書を授与する。
学修支援等
各学期修了までに全ての課程に合格できなかった者、あるいは、病気、事故によるケガ等のやむを得ない理由によって進級基準等を満たさなかった者については、本校学修支援の一環として、特別補講、進級判定特別再試験、もしくは、卒業判定特別再試験を行う。但し、特別補講、進級判定特別再試験、もしくは、卒業判定特別再試験によって課題等に合格できなかった場合は、進級・卒業認定は不可とする。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3 人 （100%）	0 人 （　　%）	3 人 （　　100%）	0 人 （　　%）

（主な就職、業界等） 県内洋菓子店
（就職指導内容） 月１回の管理者会議を開催し、求人情報、内定状況、各クラスの問題点等の共有を行っている。就職説明会（実習先、企業等）に参加するとともに求人票を校内掲示板に掲示するとともに職員室にファイリングし整備している。 履歴書の書き方、面接の受け方を指導し、就職試験前には、個別の面接指導を行っている。校内企業説明会も行っている。
（主な学修成果（資格・検定等）） 製菓衛生師、社会人常識マナー検定、文書処理検定、表計算検定
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任、学科長を含む管理者が学期途中及び学期末に生徒・保護者面談を行い、学習、進路に対する指導・支援を行っている。		

① 学科等の情報（４）

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務	商業実務 専門課程	観光ビジネス本科	○	－

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼間	63 単位	47 単位	16 単位			

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
140 人	131 人	131 人	4 人	5 人	9 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
各科目において各々の講義・実習等を行い、各科目において期毎の筆記試験・卒業判定試験・実習等の評価を行う。年間の授業計画・内容については、ホームページ等で公表する。
成績評価の基準・方法

学校が定める月毎の学力考査と期末における筆記試験を定期的に実施し、授業出席率・授業態度および課題提出等を総合的に判断し評価する。ただし、出席率が８５％を下回る場合には成績評価は不可とする。
卒業・進級の認定基準
課程修了の認定は、各学期に実施した試験並びに学年末試験、追試験、再試験の結果が、必修科目６０点以上、選択必修科目６０点以上であること。 所定の全課程を修了したと認めた者には、修了証書または卒業証書を授与する。
学修支援等
各学期修了までに全ての課程に合格できなかった者、あるいは、病気、事故によるケガ等のやむを得ない理由によって進級基準等を満たさなかった者については、本校学修支援の一環として、特別補講、進級判定特別再試験、もしくは、卒業判定特別再試験を行う。但し、特別補講、進級判定特別再試験、もしくは、卒業判定特別再試験によって課題等に合格できなかった場合は、進級・卒業認定は不可とする。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
36 人 （100%）	6 人 （ 16.7%）	18 人 （ 50%）	12 人 （ 33.3%）
（主な就職、業界等） 県内外リゾートホテル、ビジネスホテル、レンタカー、観光関連施設等			
（就職指導内容） 月１回の管理者会議を開催し、求人情報、内定状況、各クラスの問題点等の共有を行っている。就職説明会（実習先、企業等）に参加するとともに求人票を校内掲示板に掲示するとともに職員室にファイリングし整備している。 履歴書の書き方、面接の受け方を指導し、就職試験前には、個別の面接指導を行っている。校内企業説明会も行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 旅程管理主任者、社会人常識マナー検定、簿記能力検定、電卓計算能力検定、 文書処理検定、表計算検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
103 人	5 人	4.9%
（中途退学の主な理由） 進路変更のため		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任、学科長を含む管理者が学期途中及び学期末に生徒・保護者面談を行い、学習、進路に対する指導・支援を行っている。		

① 学科等の情報（５）

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務	商業実務 専門課程	会計ビジネス本科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼間	63　単位	45 単位	18 単位			

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
140 人	133 人	133 人	4 人	5 人	9 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

各科目において各々の講義・実習等を行い、各科目において期毎の筆記試験・卒業判定試験・実習等の評価を行う。年間の授業計画・内容については、ホームページ等で公表する。

成績評価の基準・方法

学校が定める月毎の学力考査と期末における筆記試験を定期的に実施し､授業出席率・授業態度および課題提出等を総合的に判断し評価する。ただし、出席率が８５％を下回る場合には成績評価は不可とする。

卒業・進級の認定基準

課程修了の認定は、各学期に実施した試験並びに学年末試験、追試験、再試験の結果が、必修科目６０点以上、選択必修科目６０点以上であること。

所定の全課程を修了したと認めた者には、修了証書または卒業証書を授与する。

学修支援等

各学期修了までに全ての課程に合格できなかった者、あるいは、病気、事故によるケガ等のやむを得ない理由によって進級基準等を満たさなかった者については､本校学修支援の一環として、特別補講、進級判定特別再試験、もしくは、卒業判定特別再試験を行う。但し、特別補講、進級判定特別再試験、もしくは、卒業判定特別再試験によって課題等に合格できなかった場合は、進級・卒業認定は不可とする。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
40 人 (100%)	3 人 (　7.5%)	20 人 (　　50%)	17 人 (　　42.5%)

（主な就職、業界等）

県内外ホテル、レンタカー、観光関連施設、携帯電話関連企業等

（就職指導内容）

月１回の管理者会議を開催し、求人情報、内定状況、各クラスの問題点等の共有を行っている。就職説明会（実習先、企業等）に参加するとともに求人票を校内掲示板に掲示するとともに職員室にファイリングし整備している。

履歴書の書き方、面接の受け方を指導し、就職試験前には、個別の面接指導を行って

いる。校内企業説明会も行っている。
（主な学修成果（資格・検定等）） 社会人常識マナー検定、簿記能力検定、電卓計算能力検定、文書処理検定、表計算検定
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
109 人	6 人	5.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更のため		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任、学科長を含む管理者が学期途中及び学期末に生徒・保護者面談を行い、学習、進路に対する指導・支援を行っている。		

②学校単位の情報

ａ）「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
歯科衛生士科	200,000 円	500,000 円	320,000 円	実習費・教材費
調理本科	200,000 円	500,000 円	280,000 円	実習費・教材費
調理科	200,000 円	500,000 円	310,000 円	実習費・教材費
製菓衛生師科	200,000 円	500,000 円	340,000 円	実習費・教材費
観光ビジネス本科	200,000 円	500,000 円	100,000 円	教材費
会計ビジネス本科	200,000 円	500,000 円	100,000 円	教材費
修学支援（任意記載事項）				

ｂ）学校評価

自己点検評価結果の公表方法

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
ホームページにて公表　https://daiiku.ac.jp

第三者評価の基本方針（実施方法・体制）

本学園が委嘱した学校関係者評価委員が、教育理念・学科教育目標、教育活動等の学校運営に関する事項・状況等を検討し、その結果を本学園に報告する。
　本学園は、学校関係者評価の意見を踏まえ、当該年度以降においてその意見・提言を活用していく。各学科における各業界との意見交換については、各学科教職員が、各団体に所属するとともに、就職先の訪問、インターンシップ期間等に訪問を行い、常に接触を行い、本学園の教育に関する意見を聴取する。
　学校評価委員の選定については、本校の教育課程における業界関係者及び地域住民、卒業生と広く意見を収集できるようにしている。

第三者評価の委員

所属	任期	種別
社会福祉法人　理事長	R8.4.1～R10.3.31	教育課程における業界関係者
沖縄県理容生活衛生同業組合　代表	R8.4.1～R10.3.31	地域住民
オリオン歯科医院　院長	R8.4.1～R10.3.31	教育課程における業界関係者
沖縄税理士会事務局　事務局長	R8.4.1～R10.3.31	教育課程における業界関係者

第三者評価結果の公表方法

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
ホームページに公表している。https://www.daiiku.ac.jp/

（備考）

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
https://www.daiiku.ac.jp/